

## URALリバースセレクトレバー部オイルシール交換手順 その1

(タイトル：URALリバースシャフトシール交換)

シールの交換はとても簡単ですが強いて難しいところをあげれば

- 1) 側車ボディーサイドに位置するため作業がしにくい。(シート/サドル越しでの作業)
- 2) レバーとシャフトの嵌め合いがかたい場合は抜けにくい時もある。(作業ガイド後述)



FIG. 01 レバー周辺全景



FIG. 02 マイナスドライバー差込み

M8ナット(13ミリスパナ)とスプリングワッシャーを外す。



FIG. 03 ドライバーをこじる



FIG. 04 シール取り出し

細いマイナスドライバーを差し入れ、こじってオイルシールを取り出す。



FIG. 05 ソケットを用いて新シール打ち込み

オイルシール外径より少し小ぶりのソケットなどでシールを打ち込む(指で押し入れることもある)

シールのリップがセレーションに引っかかり、裏返しにならないように注意する。

## URALリバースセレクトレバー部オイルシール交換手順 その2

(ステップが干渉する場合に限る)



FIG. 06 ステップバーのマーキング

レバーとステップバーが干渉する場合はステップ部ナットを緩めてバーを移動させる。

元の位置に戻すためあらかじめ左右ステップバーとフレーム側にマーキングする。

(セレクトレバーが外れない場合に限る)



FIG. 07 レバーの嵌め合いがかたい場合

- 1) レバーが固着している場合は大きなマイナスドライバーでこじる
- 2) ハンカチ程度のウエスをレバー/シャフト部に巻き付け熱湯を掛け膨張させ取り外す。
- 3) ケースの隙間にタイヤレバーなどを入れ、レバーを保持してシャフトの頭をセンターポンチで叩く
- 4) 小型のギアプラーを用いてレバーを抜き取る。



FIG. 08 オイルシール破損例